

5-5. ロケータや治具の取付

- ・ チャックボデー表面にロケータや治具を取り付ける場合は、図 14 に示す追加工範囲内にタップまたは穴明けを行ってください。

斜線部追加工可能範囲

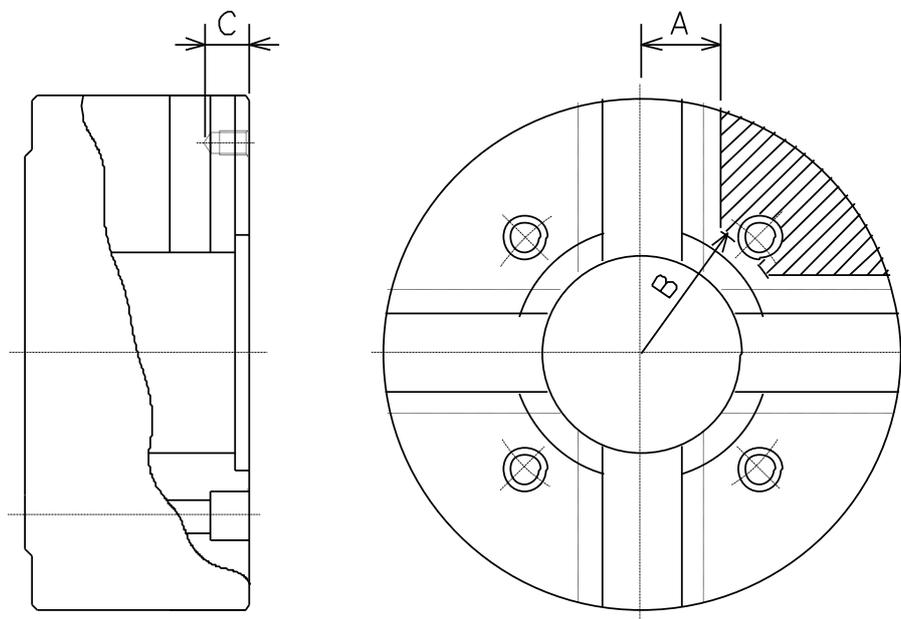


図 14

表 6

形式	A (mm)	B (mm)	C (mm)
HW-08	32	60	18 以下
HW-10	35	70	18 以下
HW-12	35	70	18 以下
HW-15	45	90	18 以下

A、B: 追加工不可寸法 C: タップまたは穴明け加工可能深さ

危険

- 許可された範囲以外のチャックの改造をしてはならない。チャックが破損するだけでなく、チャックや工作物が飛散する恐れがあり、危険。
- ロケータまたは治具には遠心力による飛散防止対策(ドウエルピン等)を施し、十分な強度のボルトで取り付けること。ロケータや治具が飛散する恐れがあり、危険。